稲刈り体験

阿下喜小学校学習田にて

10月1日(木)、阿下喜小学校の5年生たちが、5月に植えた稲の収穫を行いました。この体験は、地元農家である佐藤昌生(まさお)さんの協力の元、稲の育ち方や米になる過程を学ぶ目的で行われています。児童たちは、佐藤さんから稲刈りの方法を学ぶと田んぼの中へ。最初は慣れない作業で時間がかかっていた児童たちも、作業を繰り返すうちにどんどんと上達していきました。泥にはまり長靴が脱げてしまうハプニングもありましたが、始終楽しそうに、全員で協力しながら稲刈りを行いました。今後、児童たちは1月に餅つきを行い、1年を通して学びを深めていきます。











1. 両手いっぱいの稲を刈ります 2.5月に植えた稲が大きく育ちました 3. 稲刈り中 4. 泥だらけになりました 5. 最後は機械を使って脱穀します

屋奉松明神事

3年に1度の「天下の奇祭」

10月17日（土）、大安町丹生川の鴨神社で屋奉松明(やほたいまつ)神事が行われました。400年ほど続く伝統行事で、地域の安全や豊作を願う祭りです。氏子たちが1メートルほどの松明を威勢よく振り回す屋奉振りが始まると、その勇壮な姿に観客たちが圧倒されていました。また、高さ4.5メートルの大松明2基に火が点けられ、鳥居を焦がす場面では、歓声が上がりました。約980人の観客が集まり、3年ぶりの迫力ある神事を目に焼き付けていました。







1.2. 屋奉振りの熱気に圧倒 3. 大松明の姿は壮観でした！

「自分の字で人を元気づけられたら」と今後の抱負を話していました





2つの「日本武道館大賞」

鈴木書写書道学院の生徒が受賞

8月24日(月)、北勢中学校3年生の米倉拓真さんが、市長を訪問しました。第42回高円宮杯・日本武道館書写書道大展覧会において、硬筆・毛筆の両部門で「日本武道館大賞」を受賞。なお、硬筆の部では、幼児から一般までの中で日本一に輝きました。受賞時の気持ちを尋ねられると、「まさか自分の作品がと信じられない気持ちでしたが、目標にしていた賞だったのでうれしい」と笑顔で話していました。

小森谷代表取締役社長から目録を受け取り、対談も行われました



企業版ふるさと納税

ニッタ・デュポン㈱から支援をいただきました

9月11日(金)、ニッタ・デュポン株式会社(本社：大阪府)から、いなべ市が取り組んでいる脱炭素化および水素エネルギーの普及促進に関する事業への支援として、企業版ふるさと納税の目録が贈呈されました。同社は、市内に工場を置いており、環境負荷を軽減し、脱炭素化に貢献する経営を目指す企業です。いただいた寄附は、水素ステーションの維持管理費用として活用していく予定です。

市長と記念撮影をする太田さん。これからもお元気で



ご長寿の秘訣は？

100歳おめでとうございます

今年度、市内では20人が100歳を迎えます。9月15日(火)、市長が、来年1月に100歳を迎える上笠田の太田照一さんを訪問し、国からの長寿を祝う賞状と銀杯を手渡しました。長寿の秘訣について太田さんは「やりたいことをすること。少々のことには動じないこと」と話しました。趣味はカラオケで、現在は週1回、グラウンドゴルフで体も動かしています。市長との会話も弾み、和やかな訪問となりました。

大橋代表取締役から目録が贈呈されました



次世代の育成に

株式会社大橋組から支援をいただきました

9月24日(木)、株式会社大橋組(本社：岐阜県)から、グリーンクリエイティブいなべ推進事業への支援として、企業版ふるさと納税の目録が贈呈されました。同社は、誠実な工事をモットーに、地域密着で実績を積み重ねてきた総合建設会社です。いただいた寄附は、旧大安庁舎周辺の自然環境を生かしたこども・子育て拠点施設整備の計画など、次世代の育成に活用していきます。